

哲学思想基本研究I (その3)

2 units 3rd-year(1st semester)

Hiroyuki Yamaguchi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 我々が何かもの考えるときには、さまざまな知識を前提として考えを組み立てる。そうした、「思考の前提」となっているものについて思考することはきわめて困難である。しかしながら「哲学」の仕事とは、そうした「思考の前提」を問い直し、明るみに出そうとするものであるべきだと私は思う。ミシェル・フーコー『言葉と物』を読んで、思考の前提となるべきものの構築過程を知る。

Outline) フーコー『言葉と物』研究。毎回、担当者を決め、担当箇所の概要、議論すべき論点、疑問点などを発表してもらい、発表をもとに参加者で議論を行う。おおよそ2, 3週間に一章のペースで進める。

Keyword) 科学と哲学, *philosophy*

Notice) たくさん本を読むこと。毎回の授業で、関連する文献を紹介します。また、研究書の巻末には参考文献が掲載されています。それらを手に入れ、読み、報告すること。一ヶ月にどんなに少なくとも1冊、できれば週に1冊のペースで読むこと。

Goal)

1. 科学史・科学哲学に対する基礎的な知識を身につける。
2. 自ら哲学的に思考する技術を身に付ける。

Schedule)

1. イントロダクション:授業についての説明など
2. 第1章侍女たち(1)
3. 第1章侍女たち(2)
4. 第2章世界という散文(1)
5. 第2章世界という散文(2)
6. 第3章表象すること(1)
7. 第3章表象すること(2)
8. 第3章表象すること(3)
9. 第4章語ること(1)
10. 第4章語ること(2)
11. 第4章語ること(3)
12. 第5章分類すること(1)
13. 第5章分類すること(2)
14. 第5章分類すること(3)
15. まとめ

Evaluation Criteria) 担当を分担して報告すること、3分の1以上の欠席をしないことが必要条件。報告の内容や発表の様子、議論への参加、学期末のレポートで総合的に成績評価する。

Re-evaluation) なし。

Textbook) ミシェル・フーコー『言葉と物』新潮社

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218879>

Contact)

⇒ Yamaguchi (共通教育4号館404(11年3月まで), +81-88-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜10:30-11:30)